

十二の作品によせる十二の風景〈その五〉

女メのいる風景カと花たち

吉村 由美 〈エッセイスト〉 絵／南 和好

しばらくの間、私の部屋にはいくつかの花束があった。第二回出版記念会を神戸の中華料理店で開いた夕べ、心やさしい人たちが贈ってくれた花たちである。六甲に住む私の小さな洋間にも、一週間ほどは花の香りがしていた。

今年は空気の冴え返る期間が長く、春の盛りを思わせる桜並木の風景はまだ見られない。春宵のロマンティックな色調も、あの心魅せられる、ローズピンクに染まる山麓の街について書くのも、もう少し先のことになるだろう。街路樹に花咲く季節がおくれている代りに、私の部屋にはたくさんのお花束が集まり、もの書きの、本とレコードばかりの空間をいろどるのである。白いストックは高貴さと心の清潔さを、淡いピンクがかった白い早春のクロッカスは、清純で女っぽい美しさを、白いバラのブーケは魂の優雅さをそれぞれ告げるかのように、淡々しい光線のなかで咲きつづけていた。ダークピンクのアスターは、クリスタルガラスの花器にさして人々のおとずれる部屋に置いた。イギリス名のアスターというのは、星の花を意味する。ゲーテの「ファウスト」でマルガレイトが花占いをする。あのアスターの花だ。

バラといえばギリシャ神話の、美と愛の女神アフロディテは泡立つ波の間から生まれ、バラの花もともに生まれたといわれている。自然が地上に創り出した、もっとも美しいものの一つといえるだろう。白いバラはグレイシャスであり、ダークな紅色の花もいい。開ききっているよりも、つぼみが少し開きかけるようなバラの花の姿

を、私は好きだし優美ないとしさを感じさせられる。

四、五日前、六甲の坂道を下りて、車でポートピアホテルに向った。ポートアイランドに近づくにつれて海は深い青色に見える。神戸港の第四突堤から、ダブルデックキアーチブリッジでつないだ、世界最大の海にうかぶ人工の島にもマンションが建ち、海からの風が流れるプロムナード。ポートピアホテルは南公園をへだてて、海に向って建つ白い建物である。いつもは六甲にある私の部屋の窓から、ホテルの灯が金のクサリのようにみえる。

一階のギャラリィで、石阪春生小品展が開かれているという案内状をいただいて、私はぜひ見ておきたいと思っていた。昨年五月、神戸新聞出版センターから私のエッセイ集、「魅せられし時のために」を上梓した時、本の表紙を石阪先生の絵で飾っていた。この絵は、パイオリンとトウモロコシのタイトルがつけられている。氏の作品のなかでも完成度の高い、絵の一つだといえるだろう。

石阪春生氏の絵にはページジュに近いブロンドの髪をした、横顔の女性がしばしば描かれる。そしてコーヒブラウンのアンティークドレス。衣の色は淡いモスグリーンであったり、ダークな青衣であったりもする。その画面に、アンティークの机や椅子、そしてランプとかヴァイオリン、人形、花たち、果実、時には猫が書き加えられてゆくのだ。それにしても氏の絵に描かれた猫は、優雅

さを感じさせる女性の周囲に、まるで彼女のお守り役のように、りりしい顔と姿をしている。

日本的なものよりもむしろ北歐的な、そしてきわめて洗練された画家としての感覚が、鮮やかに個性となつて絵の雰囲気を作りだしていると思われる。優雅でありながら硬質な線と、色彩の美しさはすぐれたものだ。どぎつきの全くない、淡く渋い色のトーンでありながら、なぜか温かさを秘めたロマンティックな魅力を感じさせるのである。

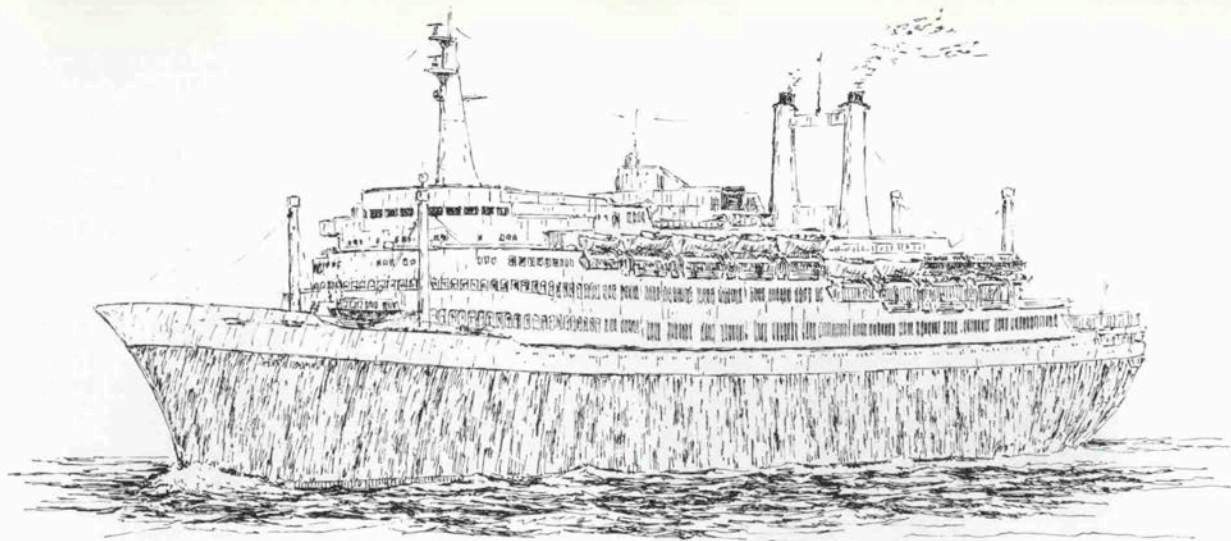
今回の石阪春生小品展は、「女のいる風景」のシリーズとして女性と花々が描かれていた。限定されたモチーフと素材を描くこと、そしてそのヴァリエーションのなかで、自らの美意識の具象化に徹しきることが、ぎやくに氏の絵を個有な美的世界に純化させているのであろう。神戸の街にただよう光線と、風の流れ、そこに咲く花が

この小品展の色彩と雰囲気微妙にからまりながら、また静かでやさしい美しさとなぐさめを、見る人の心に映じさせるだろう。

石阪春生氏の絵には、つねに静けさを感じさせるものがある。日常的な騒音とは無縁な、絵の世界だけが全てをおおってしまうような、一切の猥雑さにぎやかしさのない静かな、「女のいる風景」なのである。

ギャラリーの白い壁に掛けられた小品には、女性の横顔とアネモネ、つた、白いシクラメン、ポピーの花、白いストックなどが描かれている。今回の小品展で、氏の絵に白のニュアンスのある色彩が鮮明に出てきたことを感じた。「花達」というSMサイズの小さな絵に心惹かれ横顔をみせる女性の髪を飾る白い花に、清らかなあでやかさを思いながら、私はこの小さなギャラリーを出て、ふたたび海の風と陽光のなかに車を走らせていた。





ROTTERDAM
K. MANNAM

海船港

オランダ豪華客船

ロッテルダム号 乗船記

絵と文 万波和良

ほろ酔い





(右上)カメラを向けると愛想よくポーズをとってくれる (同下)歌い始めると船客は故郷を懐くように耳を傾ける (中上)神事芸能が披露される (同下)自動コップ洗い器 (左)アンパサダー・バーにてインドネシア人のパティンと話しこむ筆者

万波和良さんは少年時代から船の魅力にとりつかれ、二十六歳の現在も会社に通勤する傍ら、ペン画水彩画で船を描いている。今号は、三月十二日に来神した「ロッテルダム号」を万波氏が訪問する「ほろ酔いルポ」。

毎年のように横浜から香港まで乗っているソ連客船にもバーやプールがあるが、眼前のロッテルダム号(37、783ト)と比較すると、建売住宅とベルサイユ宮殿ほどの違いありそうだ。小生愛用の低運賃低所得者向き客船に乗り慣れると、口号のような豪華客船に足を踏み入れることは大きな期待と若干の違和感がある。

船内に足を踏み入れると、これまた大違いの場違いという感。案内役はインフォメーションで貰ったパンフ一枚。我々(担当編集氏、カメラマン氏と)一行とりあえず本船最大の公室「クイーンズ・ラウンジ」にて行われているレセプションを拝見する。カラテシヨを見入る船客のほとんどがアメリカ人らしく、水をうった静けさの中で素顔豊かな船客がこだまする。しばらく拝見した後本来の目的であるバー探訪を始める。

小生、既に船内には四カ所のラウンジ・バーがあることを調べており、用意周到にもドル換えまでしてきている。船内を歩くや目ざとく第二のバー「アンパサダー・ルーム」を発見。普段は季節はずれの扇風機よろしく回転の悪い頭も、こういうことにはすぐ回転するのだ。

照明を落としたバーは、スイングジャズが流れ落ち着いたムード。カウンターに腰掛け、ハイネケンのビールを傾ける我々に、インドネシア人のボーイがいろいろと気付かってくる。大好きな船旅で培った英語力(と言えは聞こえはいいがブロークン度胸英語です)を駆使して話しかける。

「この船には何人ほどインドネシア人が乗っているの?」「そうね。五百人の船員のうち半数くらいかな」と屈託ない笑顔で答えが返ってくる。彼らは全員サービスマン業務に従事しており、航海士は全員白人である。彼らの労働条件は本国のそれよりもちゃんとしたものだろうが、そこには蘭領インドネシアの残影がチラチラとぞいている。

「キミらにとって贅沢の限りを尽くすアメリカ人船客はどう思うか」こんな質問が喉まで出かかると言わずじまいた。答えはわかっているような気がしたからだ。「さあね。ただ僕はビジネスをやるだけさ」話は変わるが、我々はチップを渡すべきか否かで大いに迷った。結局全員一致で渡さなくても構わないことにした。ケチったわけじゃない。というのは、小生毎年豪華客船に乗っているが一回も払ったことがない。やっぱり慣れないことはなかなかできないものだ。



ハイネケンの酔いのせい？ スキヤキソングこと「上を向いて歩こう」を歌い出す筆者
(同下)同曲の日本語詞の手ほどきをする

席を立ち、次なるバー「オーシャン・バー」にお邪魔する。そこはクイーンズラウンジのすぐ隣りで、二回目のレセプションが見通せるおあつらえ向きの場所。神戸大鼓、弓道、獅子舞などをチラチラ見ながらハイネケンを飲む。飲みほせば、我々はすっかり船客の気分。そのとき、以前から興味のある同船御自慢のシアターのことを思い出す。シアターでは映画「ザ・ライトスタッフ」を上映中。内容は宇宙飛行士の物語。時を忘れて魅き込まれる。おっと、乗船時間も余り残されていない。映画の未練を断ち切り、我々はマツハニ・五のスピードで次なるバー「リッツカールト」へと直行した。中国風山水画で壁を装飾したオリエンタルムード一杯のホールである。

またもやハイネケンビールを飲む。ここではよもやと思われるハプニングが起こった。別室ではレセプションの真最中のせいか、同ホールには我々と、同船専属のバンドの連中のみで、紅一点の若く美しいボーカル嬢。

そこで仕事意欲旺盛なメラマン氏が演奏風景の写真を撮りたいとお願いしたところ快くOK。ところがそこからハプニング。ピアノから流れて来たメロディが例のスキヤキソングこと「上を向いて歩こう」。ハイネケンの威力は絶大で、日頃少女のようににはかむ小生が舞台にとび出し、ボカンとしたボーカル嬢の横で雄叫びソングを歌いだしたのだ。それも二番までしっかりと。

ああ、小生の歌はボーカル嬢を感動させてしまったのであろうか。

「今の歌詞を教えて下さらない？」

小生「上を向いて」とうなれば、ボーカル嬢「U E O M U I T E」と綴っていく。次の横浜港でも歌うつもりだろうか……。

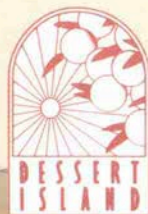
人気がないデッキから更けゆく神戸の街を眺めていると、さきほどまでの船内のざわめきは航跡のように遠く消えてゆくのがわかる。残るのはいつもとは少し違うアルコールの酔いであった。

四月二十八日(土)から二週間にわたり、海天堂書店ギャラリー(元町)にて万波氏による船のペン画水彩画展を開きます。ご来場下さい。

国際デザートフェア

デザートは、ゆとりと寛ぎの、チョッピリ贅沢な遊びの世界。この遊びを国際的レベルで楽しみたい。そこで国際デザートのフェアのお知らせ。世界各国のデザートや神戸のユニークなデザートが勢揃い！国際都市にふさわしい催しです。アメリカ、イタリア、スイス……各国のデザートにお口の中までインターナショナルというわけ。神戸祭りの前夜祭、忘れることのできない国際交流の日

- 5月19日 4:00PM～7:00PM
- ポートアイランド市民広場
- 神戸青年会議所主催



私たちのとっておきの
デザートアイランド



神戸市中央区三宮町 1-7-5

スタイルビル B1

TEL 078-332-2552

営業時間 AM 11:00 ~ PM 9:00

第3水曜日休

トアロードから神戸ビーフのエスプリを

nice taste



●れんが亭(5月)のゲスト

打間ロッシュン(パビロン有限会社代表)・奈津子夫妻

異人館とファッションの町・北野で商業活動に情熱を燃やす打間(ダマ)夫妻。日本とパキスタンのインターナショナル・カップルだ。ブティック、スーパーマーケットをはじめアメリカンハウス、ベルシャ館などの公開異人館を経営、最近ではカサブランカ・クラブをオープンした。しかも奈津子さんは神戸青年会議所のメンバーとしても活躍、とにかく多忙な二人だ。もともと、[※]外交。担当はもっぱら奈津子さんで、ロッシュンさんは、じっくり考えてオッケイを出すとか。エネルギーな仕事は美味しいものを食べてから。れんが亭でのひとときで、明日のビジネスもオッケイです。

ステーキハウス
鉄板和紙焼®

れんが亭®

神戸市中央区下山手通2丁目5-5(トアロード) TEL.078(331)7168

営業時間/平日AM11:30~PM2:PM5~9 日曜・祝日正午~PM4:PM5~9 無休

神戸百店会

*宝飾品 Jewel・Pearls

- ①宝飾 ミキモト Mikimoto Pearls
②宝飾 田崎真珠店 Tasaki Pearls
④宝飾 タジマ Jewel Tajima
⑤時計と宝石 美田時計店 Mita Watch Shop
⑥宝飾 神戸ダイヤモンド Kobe Diamond

*紳士洋服・洋品 Tailor & Men's Shop

- ⑦紳士服 柴田音吉洋服店 Tailor Sibata
⑨紳士服 三恵洋服店 Tailor Mituei
⑩男子洋品 フナキヤ Funakiya
⑪紳士服 十字屋洋服店 Tailor Jujiya
⑫洋品雑貨 サノ Sanohe
⑬ワイシャツ 神戸シャツ Kobe Shirt
⑭紳士服 洋服の粹 渡辺 Watanabe
⑮紳士服 ニッケショールーム Nikke Showroom
⑯紳士服飾 ウェンズショップ Men's Shop Une
⑰紳士シャツ 大和屋シャツ Yamatoya Shirt
⑱メンズウェア マーキュリー MERCURY
⑳紳士服飾 西川

*婦人洋装・洋品 Ladie's Shop

- ⑲帽子 マキシマ Maxim
⑳服飾雑貨 エスターニュートン Esther Newton
㉑ハンドバック シラサ Shirasa
㉒ベビー用品 フアミリア Familiar
㉓婦人服地 シンワ
㉔婦人靴 ジョアンナ

- ㉕洋装 オカダ Masuya
㉖婦人服飾 ベニヤ Beniya
㉗婦人・紳士服飾 セリザワ Serizawa
㉘毛皮服 ベニ毛皮 Bennie Furrier(Furs)
㉙高級婦人服地 コマツ KOMATUYA
㉚婦人服飾 三三 San-ai
㉛オートクチュール 装 Soen
㉜婦人服飾 リザ Liza

*装身具・服飾品 Accessory・Dress

- ㉝ベッ甲 太田ベッ甲 Ota Co.(Tortoise-shell ware)
㉞ハンドバック イクシマヤ Ikushimaya
㉟アクセサリー 芸 Geimu
㊱婦人・紳士靴 クロス Cross Shoes
㊲婦人・紳士靴 ヨシオカヨシオカ Yoshioka Shoes

*和装 Kimono・Geta

- ㊳呉服 ちゃんがり屋 Chingaraya
㊴呉服 みよし Miyoisya
㊵衣裳 中川衣裳店 Nakagawa
㊶衣裳 つるや衣裳店 Turuya

*美容 Beauty Shop

- ㊷美容 ブルーズあきら Blue's
㊸美容 美容室エリザベス Elizabeth Beauty Shop

*美術・工芸品 Art

- ㊹美術 元町画廊・若木屋 Motomachi Gallery
㊺画材・額縁 末積製額 Suezumi
㊻工芸 磯川工芸店 Isokawa
㊼美術陶磁器 淡洲 Tanashudo
㊽新古美術 播磨 Harishin
㊾美術品 元町美術 平山美術 会

*家具 家庭・文化用品 Furniture・Family

- ㊿家具 永田良介商店 Nagata Ryosuke Shop
㊿玩具 カメヤ Kameya Toy Store
㊿メガネ 神戸眼鏡院 The Kode Optical Co.,Ltd
㊿カバン 大上靴店 Oue Trunk Co.
㊿ゴルフ用品 タカハシ GOLF & BAG TAKAHASHI
㊿メガネ 服部メガネ店 Hattori Optical Shop
㊿結婚儀式用品 遠藤福寿堂 Endo-Fukujudo
㊿和洋家具・カーテン・カーペット インテリア イリフネ Interior Irifune
㊿家具・インテリア メーブル FUJIYA

*菓子・喫茶 Cake・Tea-room

- ㊿和洋菓子 風月堂 Fugetsudo
㊿菓子 雁治郎飴本舗 Ganjiroame-Honpo
㊿洋菓子 ドンク Donq
㊿チョコレート モロゾフ Morozoff
㊿ドイツ菓子 ユーハイム Yuchheim's
㊿洋菓子 ヒロタ Hirota Confectionery
㊿洋菓子 ユーハイムコンフェクト
㊿和菓子 二つ茶屋 Futatsuchaya
㊿菓子 本高砂 Hon-Takasagoya
㊿菓子・パン Belle
㊿菓子 河南 Kanando
㊿チョコレート コスモポリタン Cosmopolitan
㊿瓦煎餅 菊水総本店 Kikusui Sohonten
㊿喫茶 UCC上島コーヒショップ UCC
㊿チョコレート ゴンチャロフ Goncharoff
㊿パン・喫茶 カスケード Cascade

*和洋料理 Eating House

- ㊿和洋料理 竹葉 Chikuyotei
㊿天婦羅 おお可 Okagawa
㊿寿司 本成駒 Hon-Narikomaya
㊿とんかつ 武蔵 Musasi
㊿スペイン料理 カルメ Carmen
㊿欧風料理 ハナワグリル Hanawa Grill
㊿ビヤ・ホール ニュー・トーキョー New Tokyo
㊿海川魚料理 時雨茶屋 Shigure Jaya
㊿軽料理 蛸の壺 Takonotsubo
㊿レストラン 北野クラブ The Kitano Club
㊿レストラン ブランドウブラン Blanc de Blanc
㊿ふぐ・天ぷら・寿司 栄 Sakaeya
㊿寿司 又 Matahei
㊿神戸肉 大井肉店 Ooi Beef Shop

*クラブ・料亭 Night Club

- ㊿料亭 松の家 Matsu no ya
㊿ナイトクラブ 北野クラブ The Kitano Club

*ホテル Hotel

- ㊿ホテル 神戸オリエンタルホテル Oriental Hotel
㊿ホテル 六甲オリエンタルホテル Rokko Oriental Hotel
㊿観光旅館 有馬温泉(東有馬)古泉閣 Kosenkaku
㊿ホテル ニューポートホテル NEW PORT HOTEL

*商社 Trading House

- ㊿ビール アサヒビール Asahi-Cho
㊿電化製品 ナショナルショールーム National Showroom
㊿銀行 太陽神戸銀行 THE TAIYO KOBE BANK,LTD.
㊿珈琲・紅茶 UCC上島珈琲本社 UCC
㊿洋品・メダナ 神丸善

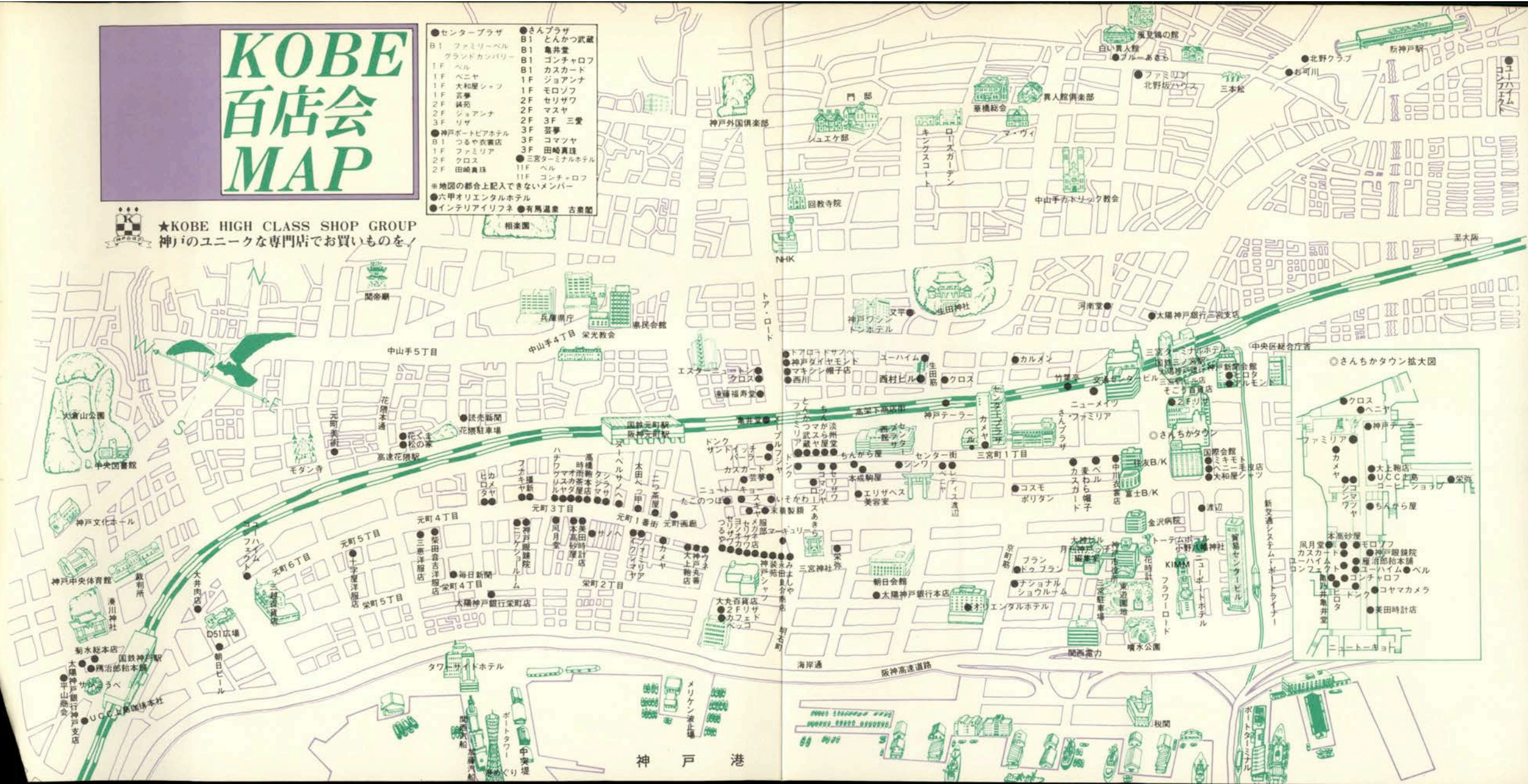
KOBE 百店会 MAP



★KOBE HIGH CLASS SHOP GROUP
神戸のユニークな専門店でお買いものを

- センタープラザ
B1 ファミリーベル
1F ベル
1F ペニヤ
1F 大和屋シヤブ
2F 芸夢
2F ジョアンナ
3F リザ
- さんブラザ
B1 とんかつ武蔵
B1 亀井堂
B1 ゴンチャロフ
B1 カスカード
1F ジョアンナ
1F モノンフ
2F マスヤ
2F 3F 三愛
3F 芸夢
3F コマツヤ
3F 田崎真珠
●三宮ターミナルホテル
11F ベル
11F コンチエロフ
- 神戸ポートピアホテル
B1 つるや衣業店
1F ファミリア
2F クロス
2F 田崎真珠
- 六甲オリエンタルホテル
●インテリアイリフネ ●有馬温泉 古楽園

●地図の都合上記入できないメンバー
●相楽園



新発売

Pasparla

パスパールのキャッチフレーズは、"パス
テル色の風と光 —FROM 神戸—。
やさしく軽やかな風が、通りぬける神戸
の街。何気ないおしやれにもキラリ、セ
ンスが光る—

パスパールは、そんな女性によく似合う
本高砂屋のギフトコレクション。贈る人
のセンスをお伝えいたします。



シャーベスト・ゼリー・ムース 詰合せ

パスパール...**3,000円** (写真商品)

その他.....**2,000円**
5,000円

本高砂屋

本 社・神戸市東灘区甲南町1丁目4-28

☎(078)451-0321(代)

本 店・神戸市中央区元町通3丁目2-11

☎(078)331-7367(代)

—直 営 店—

神戸元町本店・さんちか店・阪急三番街店
取扱店・全国有名百貨店

パス・テル・色・の・風・と・光 FROM 神戸



大人の会話に香りのデザート
ブランデーケーキ

BRANDY CAKE



新発売

神戸ベル、リュバンドールのブランデーケーキは3つの味わい。
気分に合わせてお選びください。

- CHOCOLATE 魅惑の味 チョコレート
- ORANGE 小粋な味 オレンジ
- MIXNUTS リッチな味わい ミックスナッツ

リュバンドールは神戸ベルの高級ギフトブランドです。

神戸ベル

本社
神戸市東灘区魚崎浜町17-4
電話 078-441-0331

つるべが“はや”を神戸につれてきた!



私たちがおもてなしいたします。



民芸肉料理

「風味ある上質の和牛肉、新鮮な魚介や野菜をふるさとの香り漂う「はや」の棧敷席で楽しむ民芸肉料理は、ほのぼのと和韓折衷の楽しさがあります。2人、4人、6人掛け、小中宴会から大宴会(100人)じゅうたんを敷きつめた特別室など1,178㎡のビッグなスケールです。」

大富支配人

焼肉料理

牛肉のたたき	¥1,000
肉刺し	¥960
ロース	¥900
カルビ	¥900
上ロース	¥1450
しゃぶしゃぶ	¥3,000
特選セット	(¥3,900)



西洋膳所

「ちょっと優雅なデイトime、ゴージャスなナイトタイムに、本格的な仏蘭西料理を懐石風に。グルメなひとときが旬ごとに変わる四季のメニューに、和仏折衷の新鮮さをお楽しみ下さい。」

中嶋シェフと鈴木

西洋懐石

- フローレンスの森の夜会 (13品 ¥4,000)
- 美食家のための特別料理 (13品 ¥5,500)

お昼の西洋懐石

- パリジェンヌの午餐 (日替りメニュー9品) ¥2,300

民芸肉料理

はや

神戸東灘店

☎ (078) 453-2288

仏蘭西割烹

西洋膳所

グルメなひととき

☎ (078) 453-2282

灘高前、国道2号線沿い(日興甲南スカイマンション)

午前11時30分～午前2時

珈琲は音楽

波の音に遊ぶ午後

いい香りで演出したい...

Mon café, mon ami

コーヒー友達

炒りたて、挽きたての味と香り

UCC
レギュラーコーヒー



UCCオリジナルコーヒー
(ペーパーフィルター用 200g缶)



UCCアロマパック
(特殊バルフ付包装 200g)

信頼のブランド



上島珈琲本社

総本社：神戸市中央区東港町5-1
☎(078)361-8800H
支 社：北海道・東北・関東・東海
中部・北陸・近畿東・近畿西
中国・山陰・四国・九州・沖縄
支 店：全国主要都市165ヵ所

発行：(有)月刊神戸っ子 神戸市中央区東町1-13の1 大神ビル9F 郵便番号：650-0000 電話：(078)833-1224・6
第277号 昭和59年5月1日発行(毎月1回1日発行) 昭和40年1月20日第三種郵便物認可 ナニワ印刷(株)印刷 編集・発行：小泉康夫
頒価380円(送料70円)

神戸っ子